

# 人権尊重のまちづくり

## 気づき 考え 行動へ

地域の旗持ち当番のみなさんへ

車の多い横断歩道で、暑い日も寒い日も雨の日も  
地域の小・中学生、高校生の私たちが  
安全に渡れるよう誘導してくださる保護者の方へ。

いつもいつも、本当にありがとうございます。

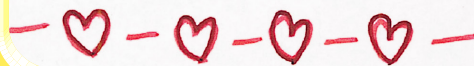
小学校1年生のときから今に至るまで、旗持ち当番の方に  
あいさつをして、「おはよう、いってらっしゃい」と  
送り出してもらうことが、もはや私の習慣となっています。

私が将来子どもと学校へ通わせるときまで、  
旗持ち当番をすることになったときには、  
きちんと責任をもち、精いっぱい恩返しをしたいです。

本当に感謝しています!!

これからも、私たちをよろしくお願いします。

ありがとう



徳島県教育委員会は、すべての人の基本的人権が尊重される社会づくりをめざし、総合的な視野に立った人権教育の推進に努めています。

この資料は、人権教育がめざすものや人権を考える上での大切な点について、日常生活のなかで理解を深めていただくために作成しました。PTAや社会教育での研修会をはじめ、多くの場で活用されることを願っています。

## ●街角ウォッチング ～わたしたちのまち再発見！～



だれもが暮らしやすい社会について、  
イラストマップを見て、考えてみましょう。

# 進め方

- ① イラストマップを注意深く見て、気になるところに○をつける。
- ② ○をつけたところが、なぜ気になったのかワークシートにまとめる。
- ③ 気になるところについて話し合う。
- ④ 「わたしたちにできること」を考え、話し合う。
- ⑤ だれもが暮らしやすい社会について気づいたことをまとめる。

「人権が守られていない」ところが気になるけど、  
「人権が尊重されている」ところに気づくこともありますね。



## ワークシート

[illegible]



## イラストマップ

.....参考 // 街角ウォッチング (広島県福山市作成)



## ●気づいたことを話し合ってみましょう



点字ブロックの上に  
自転車があるので視覚  
障害のある人が安心し  
て歩けないよ。 B-5

いじめに、気づいてい  
るのに、何もしないで  
行こうとしている子が  
いるわ。 A-3



講師として子どもと交流  
できるので、やりがい  
もあるし、世代間の理  
解も進むね。 A-1

多言語による案内看板  
だけでなく、多言語で  
の放送なども充実する  
といいなあ。 B-1



自分の知らないところで  
身元調査をされている  
かも…。社会全体でなく  
さなければ。 D-1

カップルの男性がいば  
っていて、女性は後ろか  
ら。対等な関係じゃない  
感じがする。 C-2



※自分たちの地域についても、話し合ってみましょう。

## ●人権尊重のまちづくりのためにできること

気がついた様々な課題は、できることから改善していきましょう。

一人の力では難しいことも、人々の協力があればできることもあります。人権尊重の  
まちは、わたしたちで、つくることができるのです。

わたしたちにできることを考えて、表に整理してみましょう。

	一人で	協力して
すぐに できること		
時間をかけて 取り組むべき こと		



# ●個人人権課題の解決のために

次の事例は、日常生活のいろいろな場面での発言や考え方を載せています。それぞれの発言や考え方に対して、「人権を尊重する」「差別をなくしていく」という基本姿勢をもって、「自分はどのように考えるか」「どのようにしていくか」を話し合ってみましょう。

## 【事例1】交際中の女性と男性の会話から

Aさん(女性)とBさん(男性)は交際中のカップルです。ある日の会話です。

Bさん:おまえ、なんでCなんかと話をするんな?むかつくわ。

Aさん:ちょっとCくんの相談を聞いてあげてただけでえ。

Bさん:俺以外のやつと話をするな!!

Aさん:そんなこと言ったって…

Bさん:(ぐっとにらみつけ)俺の言うこと聞けんのか。俺のこと好きなんとしがうんか。

Aさん:ごめん…

## 【事例2】ある高齢者施設にて



## 【事例3】部屋さがし(視覚障害のあるDさんの場合)



## 【事例4】結婚相手について

Eさん:結婚しようと思っている彼から、出身地のことを告白されたの。

Fさん:どういうこと?

Eさん:彼は、〇〇町にある同和地区出身の人なの。

Fさん:へえ。そうなの。それじゃ、将来大変ね。

苦勞するかもしれないね。

Eさん:(心の中で叫んだ)何が悪いの。どこがちがうの。

どうして…



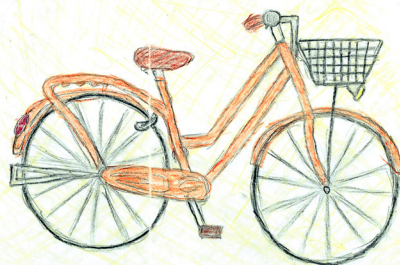
# ●できることを行動に移していきましょう

「人の優しさ」  
平成二十三年度「心にひびく」とっておきのエピソード」入賞作品

伊勢 七海さん（阿南中学校）

「人の優しさ」  
今日、朝学校に行っていると、急に自転車が動かなくなってしまう。何でかなと思いい、自転車をおりて見てみると、荷物をくるくるゴムが後輪の軸の部分に、ぐるぐるに巻きついていました。  
私はあせって、何もできないでいると、偶然通りかかった友達が、はずすのを手伝ってくれました。でも、はずれなくて、その後知らないおじさんが来て、半分くらいはずしていただきました。その様子に気付いたタクシの運転手さんが、ばさみとペンチを持ってきてくれて、みんなすごがんばってくれて、やっとはずすことができました。自転車屋さんも、まだ開いてない時間だったので、この人たちのおかげで、遅刻ギリギリで学校に着くことができました。しかも、ゴムがはずれた後、学校に向かうとしたら、「急ぎすぎて、事故するなよ」と、心配までしてくださいました。  
私はこの人たちの優しさが本当にうれしくて、とても感動しました。

伊勢 七海



自分にできることを考え、行動に移している友達や男性、タクシの運転手さんは、すごいなあ。



「急ぎすぎて、事故するなよ。」の言葉からは、温かさが伝わってくるね。

このエピソードのような人と人との温かいつながりが広がる一方で、わたしたちの住む社会には、残念ながら同和問題をはじめ様々な人権問題が残されています。わたしたち一人一人が、日常生活の中で、気づき、考え、行動していくことが、個別人権課題の解決や人権尊重社会の実現への第一歩となるのではないのでしょうか。

わたしたちの生活を見直し、みんなで人権が尊重されるまちづくりに取り組んでいきましょう。

徳島県教育委員会では、人権教育に関する資料をホームページに掲載していますので、ご活用ください。

URL:<http://www.pref.tokushima.jp/soshiki/jinkenkyouikuka/>

## 徳島県教育委員会人権教育課

■ 電 話 088-621-3157 ■

■ ファクシミリ 088-621-2885 ■

平成25年3月発行  
表紙：平成24年度「“ありがとう”を伝えたい『私からの手紙』」入賞作品  
(徳島北高等学校 矢野 新菜さん)